

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本研究について	<p>本研究は、静岡県国民健康保険団体連合会が市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者の方の健診受診結果、医療レセプト、介護保険審査データを突合して、匿名化处理をした上で静岡県立総合病院に提供した資料を用いて行います。</p> <p>研究対象者に対して、利用目的を含む本研究についての情報を静岡県立総合病院・静岡県国民健康保険団体連合会・静岡県のホームページ上に公開します。</p>
研究課題名	静岡県市町国民健康保険および後期高齢者保険加入者のデータベースによる医学的エビデンスの創出のための解析研究 - スタチンと膵癌発症の関連解析 -
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	リサーチサポートセンター 齋藤 洸平
研究期間	2020年7月(倫理委員会承認後)から2023年3月
対象者	2012年度以降の静岡県市町国民健康保険あるいは後期高齢者保険加入者
当該研究の意義・目的	<p>膵癌の患者は5年生存確率が6%未満と見積もられていて、癌の中でも特に進行が早く、予後も悪いといわれています。膵癌の発症を予防することを探るために、過去に多くの研究がされてきました。その結果、脂質異常症の患者に使われるスタチンという薬が膵癌の発症予防効果がある可能性があることがわかりました。しかし、研究によっては効果を期待できない結果となっているものもあり、今なお結論ははっきりしておりません。本研究では、過去の研究よりも対象人数を増やして、スタチンと膵癌発症の関連解析を行います。これらの関連性が明らかになれば、膵癌発症リスクの高い患者に対して膵癌発症予防の有効な手段の1つとしてスタチンを用いることができる未来が期待されます。また、静岡県市町の国民健康保険および後期高齢者保険加入者の記録をもとに解析を行うことで、静岡県住民に特徴的な膵癌発症の危険が高い人の特徴が明らかになります。これにより、静岡県で行われる健診情報をもとに積極的に膵癌の検査、予防を行うべき人を明らかにできます。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	静岡県国民健康保険団体連合会からハードディスクに保存して提供された2012年度以降の静岡県市町国民健康保険加入者および後期高齢者保険加入者の匿名化された健診結果、医療レセプトデータ、介護保険審査データの突合データを用いて、当院リサーチサポートセンターにおいて解析を行います。なお、データは研究対象者個人

	を直接特定できる情報を取り除いた状態で研究に利用されます。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 リサーチサポートセンター 齋藤 洸平 代表 054-247-6111